



シラバス参照

タイトル「**2017年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2017年度 教養科目シラバスー「21世紀」問題群**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	21世紀サイエンス論																																		
担当教員	鯨坂 恒夫 満田 成紀 大浦 由美 中串 孝志																																		
対象学年		クラス																																	
講義室		開講学期	前期																																
曜日・時限	月2	単位区分																																	
授業形態	講義	単位数	2																																
準備事項																																			
備考	全学部・全学年																																		
科目名 (英語表記)	The 21st Century Issues : The World and Science																																		
授業の概要・ねらい	<p>科学・技術が私たちの社会にどう関わっているのか（関わってきたのか）、そして今後（20～200年）どう進展するのか、様々なトピックを通じて考えます。</p> <p>「科学」の語が入っているだけで「理系の話でしょ」と敬遠する学生が多いようですが、本科目は、むしろ社会や人、文化に興味のある（本来の意味での）文系学生にこそ大きく関わって欲しい科目です。</p> <p>各回にトピックを設定し、教員同士・学生同士・教員と学生との議論によって進めます（一方通行のいわゆる「講義」ではありません）。議論の行方によってはその日のテーマから離れることもあり得ます。</p> <p>科学的な面での、和歌山大学流の「教養」を探る科目でもあります。学部や立場を超えた議論が望まれます。</p>																																		
授業計画	<p>講義の流れの区切りの良いところで計3～4回の授業内ミニレポートを課します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction</td></tr> <tr><td>2</td><td>高校から大学へ：教養と専門、研究</td></tr> <tr><td>3</td><td>科学と歴史</td></tr> <tr><td>4</td><td>歴史と医学</td></tr> <tr><td>5</td><td>医学と生命</td></tr> <tr><td>6</td><td>生命と地球</td></tr> <tr><td>7</td><td>地球と環境</td></tr> <tr><td>8</td><td>環境と宇宙</td></tr> <tr><td>9</td><td>宇宙と産業</td></tr> <tr><td>10</td><td>産業と軍事</td></tr> <tr><td>11</td><td>軍事と情報</td></tr> <tr><td>12</td><td>情報と生活</td></tr> <tr><td>13</td><td>生活と疑似科学</td></tr> <tr><td>14</td><td>疑似科学とリスク</td></tr> <tr><td>15</td><td>総合討論（+最終レポート課題発表）</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Introduction	2	高校から大学へ：教養と専門、研究	3	科学と歴史	4	歴史と医学	5	医学と生命	6	生命と地球	7	地球と環境	8	環境と宇宙	9	宇宙と産業	10	産業と軍事	11	軍事と情報	12	情報と生活	13	生活と疑似科学	14	疑似科学とリスク	15	総合討論（+最終レポート課題発表）
回	内容																																		
1	Introduction																																		
2	高校から大学へ：教養と専門、研究																																		
3	科学と歴史																																		
4	歴史と医学																																		
5	医学と生命																																		
6	生命と地球																																		
7	地球と環境																																		
8	環境と宇宙																																		
9	宇宙と産業																																		
10	産業と軍事																																		
11	軍事と情報																																		
12	情報と生活																																		
13	生活と疑似科学																																		
14	疑似科学とリスク																																		
15	総合討論（+最終レポート課題発表）																																		
到達目標	科学の知識ではなく、「科学的態度」を理解する。科学的なものの見方（世界観）ができるようになる。新聞等における、科学に関する報道を他人事と思わず、批判的に読み解くことができる。																																		
成績評価の方法	授業への参加35%+ミニレポート30%+最終レポート30%+参加貢献度による加点5%																																		

教科書	特に指定しない。
参考書・参考文献	授業中に適宜指示する。
履修上の注意・メッセージ	一般的な「講義」ではなく、教員や学生の討論の中から自ら発見していく授業です。聞いてノートを取るだけの受動的態度では何も得られません。
履修する上で必要な事項	回を重ねるにつれて、受講生の皆さん同士の議論（グループワークなど）の度合いを高めていければと考えています。積極的な参加、発言が求められます。
受講を推奨する関連科目	21世紀倫理学、「教養の森」ゼミナール
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。「教養の森」センターホームページ内の「ひろば」を利用した課題も場合によっては出されます。
その他連絡事項	なし。

